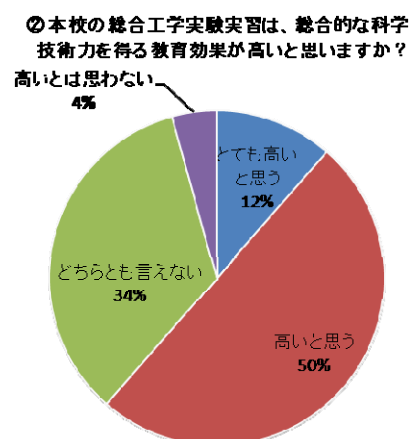
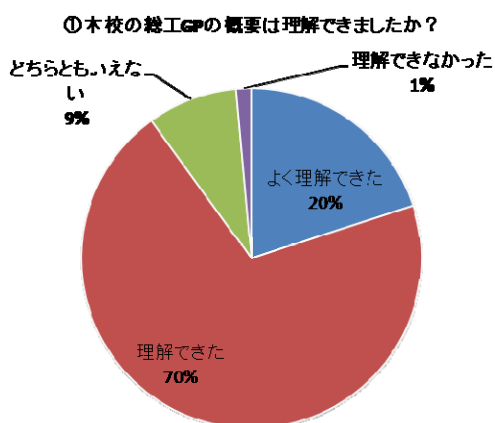




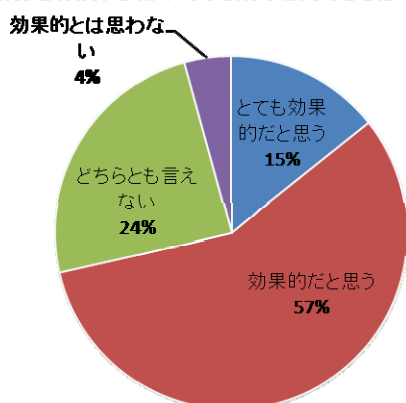
## 総工 GP ニュース 第 15 号

### 1) 1月19日(水)神戸高専・イブニングセミナー兼 FD 講演会にて講演(土井准教授)

1月19日(水)16時~17時、神戸高専本部棟2階ホールに於いて「大阪府立高専の教育 GP の取り組み」という演題で、総工 GP、TPGP および大阪府立高専改革について講演をしてきました。総工 GP の紹介では、卒業製作の概要と平成22年度卒業製作展示会のアンケート結果等を紹介しました。TPGP については、ティーチング・ポートフォリオとは何かを講演者自身の経験を交えながら紹介しました。最後に平成17年度の改組以前から来年度の独立行政法人化までの経緯を簡単にまとめて紹介しました。当日、総工 GP に関するアンケートを実施し、70名の聴講者に回答いただきました。以下にその結果をまとめました。



③本校の卒業制作は「組織的計画的なものづくりを遂行する能力」を育成する効果的な教育手法だと思いますか?



■自由記述(抜粋)

- 高専の特色の出し方など参考になりました。
- 貴重なお話ありがとうございました。
- ②に関して「さぼり学生」をどこまで減らすことができるかが大きなポイントになるのでは?
- 卒業研究の時間を減らしてまでもものづくりを行う必要は無いと思います。
- 大変興味深いお話をありがとうございました。今後の参考にさせていただきますと存じます。
- 1グループ内の人数が多すぎる。3~4人、1グループにしないと効果が無いように思う。
- 総工 GP の評価については、学生による相互評価を加えるべきだと思いました。
- 多くの大学、高専では、報告書を重要であるとして大切にしています。その中で、貴学では報告書なしとしておられ、驚きました。また報告書がない場合、プロセスの評価(プロジェクトを進める上でどのようなアプローチをし、工夫をし、失敗をしたのか)がしづらいののではと思いますが、どのように対応されているのか、気になりました。
- ティーチング・ポートフォリオをもう少し詳しく復習したいと思います。



## 2) 1月24日(月)平成22年度大学教育改革プログラム合同フォーラムに参加(土井准教授)

大学改革の現状を広く社会に発信するため、文科省が採択した教育改革プログラムが一堂に会し、秋葉原コンベンションホールにおいて標記フォーラムが開催されました(1月24, 25日の2日間)。大学教育推進プログラム【テーマA】のポスター展示会(24日)に葭谷副校長と土井准教授が参加し、総工GPの活動報告をはじめ、本年度採択された「ポートフォリオを活用した学士力確保」および昨年末に開催した近畿地区高専合同フォーラムの取り組みを紹介しました。本校ブースを訪問していただいた教育関係者の多くは高専関係者であり、持参した取り組み活動報告資料を60部配布することができました。なお、24日のポスター展示会には本校を含め9高専が参加し、豊橋技術科学大学および長岡技術科学大学も参加していました。

また、24日のポスター展示会終了後には、文科省の担当部署等との会費制の交流会がありました。200名ほどの参加者があり、その交流会では、豊橋技術科学大学と同志社大学の関係者と情報交換をし、同志社大学のPBL推進支援センターの取り組みについて詳しく伺いました。



【合同フォーラム会場入り口風景】

## 3) 1月29日(土)サイエンスフェスティバルにて卒業製作の展示(土井准教授)

豊中市教育センター(阪急蛍池駅西側 ルシオーレビル5, 6階)において、サイエンスフェスティバルが開催されました。このフェスティバルは、豊中市内の小中学校や豊中市近隣の高校、大学のサイエンス系クラブ、サークル等の交流を図り、豊中地域に住む子供達への科学教育を活性化するために毎年開催されています。今年も、NHKロボコン全国大会に出場したろぼっと倶楽部のロボ力車とともに、5年生が製作した卒業製作の「PJ3:寝ても覚めても野菜工場」と「PJ4:発電床による発電・充電とイルミネーションの点灯」を展示・実演し、平成22年度の卒業製作の成果をPRしました。地域の小中学生・保護者が多数集まり、持参した本校学校案内と教育GPパンフレットを50部全て配布しました。



【サイエンスフェスティバル展示の様子】

